

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	ライブステージ鑑賞1	
科目基礎情報					
開設学科	ダンスパフォーマンス科	コース名	全コース	開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	選択	時間数	15時間
単位数	1単位			授業形態	講義
教科書/教材	無				
担当教員情報					
担当教員	三山慶人/藤田麻友美		実務経験の有無・職種	無	
学習目的					
<p>在学中に様々なライブイベントに参加し、客観的な視点で自分を見るスキルを修得する。また、スタッフ系学科の学生とコラボすることも重点におき、学生が作成したセットリストや演出プランを見て「自分だったこうする」と言う視点を持つ事、またそれをスタッフに提案する事。それを、踏まえた上で出演、または、ライブ鑑賞する。それが1年後の自分の姿を想像させる事につながる。パフォーマンス系の学生はステージに立つ上での立ち振る舞いや態度などを学ぶことに重きを置きながら出演、または、鑑賞する。ライブレポートとして担任に提出し、後日担任との個別面談も含めた指導の中で学生一人ひとりに応じた適切なキャリアプランを見つけて、目標に向けて努力して道筋を指南する。</p>					
到達目標					
<p>セルフプロデュースをアーティストに求められる時代になり、作詞、作曲、アレンジ、楽器演奏のみならず、ライブをオーガナイズする事。スタッフを招集し、ライブをプロデュースすることもアーティストとして大事なスキルになってきている。卒業後に迫る近い未来の想像を行う事で、目標を達成する為の事前準備、ネゴシエーションの大切さを認識させる。ライブ鑑賞を行った日までに何が出来ていないといけないのかを理解させ、学生一人ひとりの年次スケジュールを組ませ自らのキャリアプランに活かせるようにする。</p>					
教育方法等					
授業概要	<p>ミュージックカレッジが指定したライブイベントをに参加（出演または、鑑賞）して、全体を見渡した感想を後日レポートで提出する。学生から提出されたレポートを元に共通課題を見つけ出し、授業の議論課題とする。同じような悩みを常にクラスメートも抱えていることを知り、自由にその解決策や課題克服の為のスキルを共有する。</p>				
注意点	<p>15時間に満たず鑑賞時間は担任との面談で設定して行く。ただしReal Dreams、修了ライブ、卒業ライブといった大事な場面では必修として鑑賞させる。提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は進級できない。</p>				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	0%			
	小テスト	0%			
	レポート	30%	ライブレポートを提出		
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	70%	出席点		
授業計画（1回～12回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	新入生歓迎ライブ	片柳アリーナで開催される新入生歓迎ライブに参加			
2回	サマーライブ1	赤坂BLITZで開催されるサマーライブに参加			
3回	サマーライブ2	赤坂BLITZで開催されるサマーライブに参加			
4回	サマーライブ3	Shibuya O-EASTで開催されるサマーライブに参加			
5回	かまた祭ライブ1	片柳アリーナで開催されるかまた祭ライブに参加			
6回	かまた祭ライブ2	A-stageで開催されるかまた祭ライブに参加			
7回	かまた祭ライブ3	BOX stageで開催されるかまた祭ライブに参加			
8回	Real Dreams	片柳アリーナで開催されるReal Dreamsに参加			
9回	卒業ライブ1	赤坂BLITZで開催される卒業ライブに参加			
10回	卒業ライブ2	Shibuya O-EASTで開催される卒業ライブに参加			
11回	GEMSTONE SHOWCASE	片柳アリーナで開催されるダンスパフォーマンス科のイベントに参加			
12回	MU卒業ライブ	A-stageで開催されるミュージックアーティスト科のライブに参加			